

平成24年度一般会計予算

パノラマ強化補助金2000万円を削除

4議員が修正動議提出！

提出者：佐久祐司議員・平出隼仁議員
小池博之議員・名取武一議員

パノラマ強化補助金とは・・・平成22年度から3カ年計画で山野草公園を中心に総額1億6000万円の投資を行う。植栽事業はすでに2年間で7400万円を投資しており、平成24年度は最終年度で、残り2000万円を投資する。

〔動議の趣旨〕

①今後更に2000万円も投資することに疑問がある。町の税収がますます厳しくなる中、予算2000万円は適正に使われるべき。

②事業計画が間違っている。カタクリなど適地でない植栽が多い。

③観光戦略として今の観光ニーズにあっていない。生物多様性、持続可能な社会と言われている今、時代に逆行している。

④外来種であるドイツスズランを植えることによる環境破壊の危険性がある。富士見町の町花であるニホンスズランを守るべき。

反対：修正案は根拠のあるものとは思えない。議会で決まったことは尊重するべきで、それを反対することは議員として根本的な問題。

(小池勇議員)

反対：3カ年という複数年度にわたる計画であることを前提に、これまで議会で議決されてきた経緯を尊重すべき。3カ年の強化計画を完遂させ、経営改善の結果を見る必要がある。ニホンスズランとドイツスズランの交雑に関するデータが提示されていない。入笠湿原は本来の自然を求める層、ゴンドラ山頂付近は

景色の良さを求める層をそれぞれ対象とすることで、パノラマの客層を広げるものと考えられることもできる。

(宮下伸悟議員)

反対：パノラマの再建に向けて努力すべき。

(三井新成議員)

反対：すでに着手している事業で来客数も増えており、パノラマの再建を進めるため、意見を付して原案に賛成する。2000万円は苗木だけに使うのではなく、以前の植物が再生できる環境整備のために使うことが望ましく、この事業により生態系を変える恐れが出てきた時、また、自然破壊が予想されるときは速やかに中止すること。

(加々見保樹議員)

賛成：植栽している山野草の種類や場所の選定、自然の生態系との関係でも疑義が払拭されていない。適地でないカタクリ、ヤマユリなどの植栽に疑問。ドイツスズランの大群落は在来種との交雑の恐れがある。交雑は長い時間の中で問題が出てくる。観光目的のために入笠の自然環境を壊すべきではない。

(小池博之議員)

賛成：パノラマの再建計画は賛成。しかし、今まで使った1億4000万円の検証がされないままの2000万円投入は反対。1年計画を休止して花の状態を観察するべき。

(小林市子議員)

賛成：住民懇談会でも入笠湿原は昔らしさがなくなくなったとの意見があり、町民の合意は得られていない。特に有識者はこの事業に危惧を持っており、時間をかけて町民の合意をとるべき。

(名取武一議員)

採決の結果、修正案賛成5、反対5の同数となり、地方自治法の規定による議長採決の結果、修正案は否決となりました。

採決結果 (議案抜粋)

○賛成 ●反対

議 会	議 案	議 員									
		三井新成	小池勇	五味平一	小林市子	平出隼仁	宮下伸悟	小池博之	佐久祐司	加々見保樹	名取武一
3月 定例会	富士見町健康づくり推進条例 〈委員会提出の修正案について〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士見町観光施設貸付事業特別会計への繰入について	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●
	平成24年度富士見町一般会計予算	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●
	平成24年度富士見町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度富士見町観光施設貸付事業特別会計予算	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●

1月臨時会3議案、2月臨時会2議案、3月定例会では上記の他30議案を審議し、原案どおり可決しました。

〔請願・陳情〕

- ◆年金 2.5%削減中止の意見書採択を求める陳情
(継続審査)
- ◆国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情
(全会一致採択)
- ◆最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充を求める陳情
(賛成反対同数、地方自治法の規定による議長採決で不採択)